



# A DANGEROUS IDEAL

俳優／映画『サブスタンス』主演

## デミ・ムーア

### なぜ他人の評価を気にし、落ち込むのか

5月16日、映画『サブスタンス』が日本で公開される。主演を務めたデミ・ムーアは、第82回ゴールデン・グローブ賞ミュージカル・コメディ部門において、主演女優賞を獲得した。この作品は、容姿の衰えから仕事が減少し、そのことで自己否定に陥る女性の苦悩を描いている。脚本に強く共感し、映画出演を決めた彼女だったが、この映画の台本を読み込むことは特別な作業の連続であったという。作品に懸けた思いについて、CNNが話を聞いた。



インタビュアー

**クリスティアン・アマンプール**

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期をテヘランで過ごす。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻し、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得る。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を行ったことを発表。現在も第一線で活躍する。

ゲスト

**デミ・ムーア**

1985年公開「セント・エルモス・ファイアー」でのブレイクを皮切りに、『ゴースト/ニューヨークの幻』『ア・フュー・グッドメン』『幸福の条件』『ディスクロージャー』などのヒット作に出演。95年にはハリウッドで最もギャラが高い女優として記録を打ち立てた。2020年出版の回顧録「Inside Out (原題)」が、ニューヨークタイムズ紙のベストセラー入りを果たす。1962年、ニューメキシコ州生まれ。



Listening Quiz

**68** 「こんな映画はほかにはない」

**Christiane Amanpour** First, I want to ask you about *The Substance*. Some have said it's really deep. Others have said it's really shallow. You yourself said that this could be an absolutely amazing thing or it could be a disaster.

**Demi Moore** Yes.

**Amanpour** Now that it's been out for a few months, is it amazing or a disaster?

**Moore** I think it's amazing. It's really hit a certain kind of zeitgeist in popular culture that is even beyond what I could've expected but all that I had hoped for. There's really nothing like this film, and so I didn't know if the extreme nature of where it goes would work. I kept looking over at Margaret Qualley, my costar, going, "It's working!"

**The Substance:**

『サブスタンス』 ▶デミ・ムーアの怪演が話題のホラー映画。フランスの女性監督コラリー・ファルジャが監督、脚本、編集、製作を手がけ、2025年アカデミー賞のメイクアップ & ヘアスタイリング賞を受賞した。

**shallow:**

〈議論や作品などが〉底の浅い

**disaster:**

《話》失敗作、全くの駄作

**out:**

公開されて

**hit:**

- ①〜に当たる、触れる
- ②(〜歳)に達する

**zeitgeist:**

時代の空気、時代精神

**be beyond:**

〜を超越している、〜以上である

**There is nothing like...:**

…のようなものはない

**film:**

- ①映画
- ②〜を撮る

**extreme:**

極端な、強烈な

**nature:**

特質

**work:**

うまくいく

**Margaret Qualley:**

マーガレット・クアリー

▶『サブスタンス』でデミ・ムーアと共演した気鋭の俳優。

**costar:**

共演者

**go:**

《話》〜と言う

**クリスティアン・アマンプール** まず伺いたいのは、映画『サブスタンス』についてです。とても深い作品だと言う人もいれば、とても浅はかな作品だと言う人もいます。ご自身ではこうおっしゃっていますね、これはとんでもない傑作の可能性もあるし、全くの失敗作の可能性もある、と。

**デミ・ムーア** ええ。

**アマンプール** 公開から数カ月が過ぎた今、傑作ですか、それとも全くの失敗作ですか。

**ムーア** 私は傑作だと思います。一般社会が持つある種の雰囲気によく合っていますからね。私の予想を超えていながら、まさに望んでいた通りの形です。こんな映画はほかには本当にありません。それだけに私にもわかりませんでした、こんな極端な展開でうまくいくのかどうか。(プレミアム上映会で)共演したマーガレット・クアリーの方を何度も見ながら言っていました、「うまくいってるね!」と。



『サブスタンス』  
2025年5月16日(金)TOHOシネマズ日比谷ほか全国公開  
配給:ギャガ  
©The Match Factory

## ■ STORY

50歳の誕生日を迎えた元人気女優のエリザベスは、容姿の衰えから仕事が減少し、ある再生医療“サブスタンス”に手を出す。注射するやいなや、エリザベスの背を破って現れたのはエリザベスの上位互換“スー”(マーガレット・クアリー)。若さと美貌に加え、エリザベスの経験を持つスーはたちまちスターダムを駆け上がっていく。1つの精神をシェアするふたりには【1週間ごとに入れ替わらなければならない】という絶対的なルールがあった。しかし、スーが次第にルールを破りはじめ……。